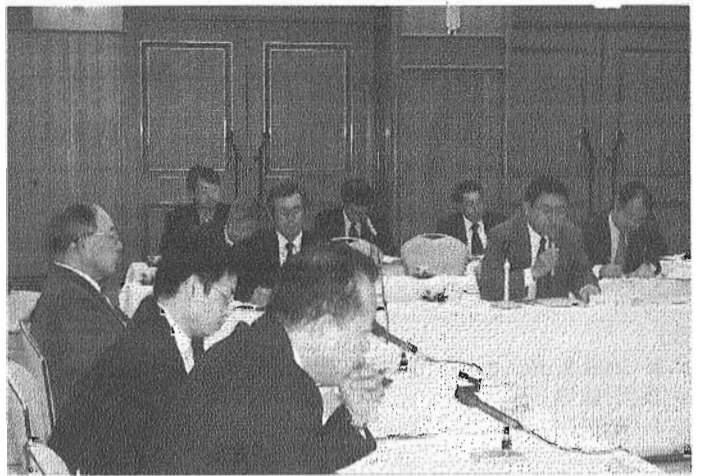


県地方港湾審議会 西之谷ダム残土を活用

# マリンポートかごしま変更案承認 廃棄物処理計画、22haへ



西之谷ダム建設残土の活用を説明する県当局  
＝鹿児島市のウェルビューかごしまで

県地方港湾審議会計画部会(部長・佐藤道郎)は28日、鹿児島市のウェルビューマリンポートかごしまに係る港湾計画変更案を承認した。

主要変更内容は、既定の廃棄物処理計画を9分の2に縮減し、西之谷ダム建設から出る残土の大半65万立方メートルを搬入し、内貨物機能強化

で活用、桜島土石流土砂と合わせて既定計画分に充てる方針。

また、旅客ふ頭計画で岸壁1バースの水深を9.9メートルに延長し、340メートルに、内貨物機能強化

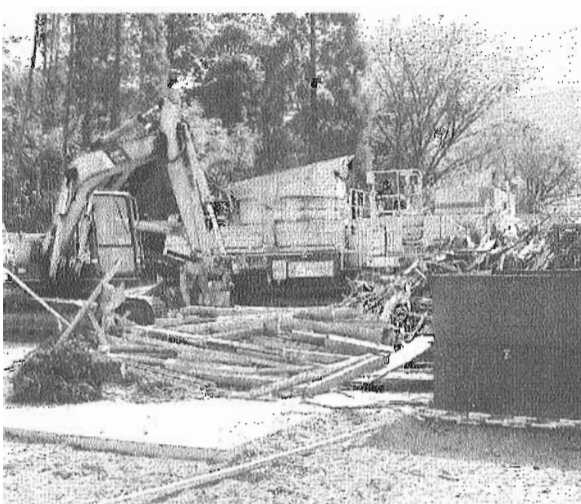
## 地域環境にも貢献

下茂砕石

木資源の活用 本格操業へ

下茂砕石(下茂政美社長、本社・肝属郡高山町)は平成12年10月、木くず再資源化施設を開業。「当初、処理設備や受け入れ体制の入口は整備したもの、なかなか出口が見つからないで困っていた。ようやくリサイクル製品を出荷できる目途がついた。」(下茂社長)ことから、いよいよ本格的に操業することになった。

木や伐根、竹類のほか建物の解体木材。伐採木、伐根ともに直径10センチ程度まで受け入れ可能。また解体木材は磁選機にかけるので釘やボルトがついていても可能(家屋解体材のゴミ化したものも受け入れ可能だが、料金は別途になる)。



一次破砕機で38×65センチ以下のチップを製造。さらに二次破砕機で6×10センチ以下にする。磁選機や風力選別・微粉除去装置により異物硬い木片が除去され、最終的にオカ粉として製品化される。用途は畜産料はじめ肥料や吹付け材等の原料として供給される。場所は県道岸良高山線沿い、高山町市街地から約5キロ。建設リサイクル法(5月完全施行)や今年12月に焼却処理によるダイオキシン類特別措置法(処理基準値の強化)が改正されることから、環境整備や公共衛生の向上に貢献する地域のリサイクル施設として活躍が期待される。

詳しくは、同社リサイクル事業部(☎0994・65・4473 または65・0805)まで。

木くずは破砕処理して再生利用される。高山町後田で

## 41事業所に安定供給

県工業用水道部施設内

県は28日、鹿児島市の工業用水道部施設内に新制御システム24時間給水運転開始式を行い、関係者や施工業者らが出席した。



システム稼働のスイッチを押す関係者  
＝鹿児島市の県工業用水道部施設内

冒頭、直江延明同部長(県土木部長併任)が「長年の念願であった24時間供給が可能となりうれしい。今後は安定供給を目指していきたい」と須賀龍郎県知事の式辞を代読。

来賓挨拶や事業過程報告に引き続き、中央監視室において中央監視装置の起動手が行われ、直江部長と県議会議員など関係者がスイッチを押して、システムが稼働して取水口などの様子がモニターに映し出された。

同事業は、平成9年から事業費約14億円を充て、耐用年数に達した電気及び機械設備などの全面的な更新を行い、鹿児島臨海工業地帯2号用地及び山町市街地から約5キロ。建設リサイクル法(5月完全施行)や今年12月に焼却処理によるダイオキシン類特別措置法(処理基準値の強化)が改正されること、環境整備や公共衛生の向上に貢献する地域のリサイクル施設として活躍が期待される。

## 森林等の学びの場に

「照葉樹の森」完成式典

県は28日、大隅半島の南部、稲尾岳・木場岳一帯の森林で構成される「照葉樹の森」で、県、市町村関係者、ボランティア、緑の少年団らが出席して、肝属郡田代町で完成記念式典を開催した。

西日本最大級の照葉樹林でもある同地域を、県では森林生態系保護地域をはじめ、自然環境保全



完成を祝いテープカットをする関係者  
＝田代町の現地

地域、天然記念物の指定を受けているこの貴重な森林を、照葉樹の保護、

が続き、「年度末の時期としては施工面の繁忙感もさほど強くない」と民間建築も一部に大型物件が見られるものの、全般的に件数は少なく、受注競争は依然激しいとした。1月の新設住宅着工戸数は、前年比25.5%減と前年を大幅に下回り、用途別では、順調に推移してきた貸家が27.2%減と5カ月ぶりの前年割れとなり、持家が14.9%減、分譲も52.1%減となった。

## 幅広く有効活用を

県建設物解体業連合会

県建設物解体業連合会(江藤正幸会長)は28日、鹿児島市の日本赤十字社県支部を訪れ、会員の善意が込められた募金を寄付した。

同会では、日本赤十字社への寄付を始めて今年で8年目を迎える。このほか、鹿児島市社会福祉協議会や県交通被災者助け合い協会にも寄付を行っている。

当日は、連合会の江藤会長と田中千積事務局長が日本赤十字社県支部を

訪れ、中川路裕一同支部事務局長に寄付金を手渡した。江藤会長は「会員の善意で集めた浄財を幅広い分野で活用して頂ければ幸いです」と語った。

また、日赤の中川路事務局長は「経済不況で厳しい中、こういった寄付は大変ありがたい。毎年、貴重な寄付をいただき感謝申し上げます」と謝辞を述べた。

## 鹿銀の県内景況

### 公共工事 受注競争激しく

鹿児島銀行は28日、最近の県内景況を発表した。総括では「景気後退が継続している」と報告し、建設関連は「公共工事発注額が前年を下回り、住宅建設も低調に推移している」とまとめた。

詳細報告では、公共工事発注額は前年を下回り、業者の受注状況は厳しさを